

Domaine Francois Carillon

ドメーヌ・フランソワ・カリヨン

批評家から絶大な称賛を受ける生彩でエレガントなピュリニ



ブルゴーニュで最も名高い白ワインの銘醸地ピュリニ・モンラッシェ村で16世紀から続くカリヨン家のブドウ栽培の伝統を引き継ぎ、2010年に設立されたドメーヌ・フランソワ・カリヨンは、ピュリニ・モンラッシェ村の中心部にドメーヌを構え、現在ピュリニ・モンラッシェ、シャサーニュ・モンラッシェ、サン・トールバンに跨る計16ヘクタールの自社畑を所有しています。

批評家から絶大な称賛を受けているフランソワ・カリヨンのワインは、数あるブルゴーニュの偉大な白ワインの中でもトップクラスのエリート生産者と見なされ、世界でも一流クラスのレストランでサーブされるワインの部類に入ります。カリヨンの手掛ける白ワインは、生き生きとした生彩でエレガントかつフルーティなスタイルを持ち、個々の畑のテロワールの持ち味を見事に表現しています。フランソワの仕事は、主にブドウ栽培に集約されます。限りなく有機農法に近い栽培手法をとり、常に最高品質のブドウを作るべく、地道で骨の折れる努力を重ねてきました。

■カリヨン家の歴史■ ピュリニ・モンラッシェ村におけるカリヨン家のブドウ栽培の歴史は、およそ500年に及びます。ピュリニで見つかった最も古い文書には、カリヨン家の祖先であるジャン・カリヨンが1520年にはこの地で既にブドウ栽培を営んでいたことが記されています。19世紀後半にフィロキセラが猛威を振るい一旦は退去を余儀なくされますが、すぐにまたこの地でブドウ栽培を再開。第一次世界大戦後は、全ての自社畑でブドウの植え替えを行い、1960年代にはフランソワの父ルイ・カリヨンがブドウ栽培以外の農作物の栽培と牧畜を廃止し、主にシャルドネの栽培に特化した経営体系へと移行しました。

フランソワが父のルイや兄のジャックと共にドメーヌの畑仕事に加わったのは1988年のことで、2010年に兄弟間で畑を分割して相続したのを機に自らのドメーヌを設立。それ以来、フランソワ・カリヨンは、ピュリニ・モンラッシェで最も洗練された白ワインを造る生産者の一人として名を馳せるようになります。ダイナミックで団結力のある12人のチームに支えられ、フランソワはワインの品質とエレガンスの更なる向上のために全精力を注ぎ、若い時以上の熱意をもって家業の発展に邁進しています。また次世代を担う3人の子供たち(マティス、ポール・クレマン、リサ)に自身が培ってきたワイン作りのノウハウの全てと仕事への愛を引き継ぐことにより、ドメーヌと自社畑の未来を確実なものとしています。

■テクニカル情報■ ドメーヌ所在地:コート・ド・ボーヌ地区ピュリニ・モンラッシェ村 設立:2010年 畑面積:16ha 栽培:実質有機栽培 栽培品種:アリゴテ、シャルドネ、ピノ・ノワール アペラシオン:計16か所に跨る/一級畑は9区画(ピュリニ・モンラッシェ村に4区画、シャサーニュ・モンラッシェ村に3区画、サン・トールバン村に2区画) 土壌:主に粘土・石灰岩質 植樹密度:10,000本/ha 平均収量:40hl/ha

栽培:1992年より除草剤の使用をやめ、馬やトラクターで畑を耕作。環境と生物多様性を尊重したブドウ栽培は、フランソワの信念に深く根ざしています。ブドウ栽培には自然由来の製品だけを必要な時だけ使用。ブドウの新梢を小さなチップに加工してブドウ畑に撒き、馬糞と共に有機肥料として利用。芽かきと夏季剪定で収量を厳しく制限し、ブドウは毎年大体9月初旬頃を目途に、熟成具合を見て全て手摘みで収穫。

醸造:空圧で優しく圧搾した後、比較的長めのデブルバージュによりマストを清澄し、新樽率10~15%のオーク樽でアルコール発酵とマロラクティック発酵。時澱パトナージュで澱を攪拌しながら、澱と共におよそ20ヶ月かけて自然発酵。その後、ステンレスタンクに移し替え、瓶詰前におよそ6ヶ月タンク内で休ませてフレッシュで張りのある味わいを引き出します。瓶詰は、村名畑から最高の一級畑のワインに至るまで入手し得る限り最高級のコルクを使用。ブルゴーニュ・シャルドネはアルデアシール社の合成コルクを使用。



■2017 ヴィンテージ情報■ 2017年は、フランソワ・カリヨンにとって偉大な当たり年である。2010年に自身の名前を冠したドメーヌを設立して以来、最高の出来映えと言えるだろう。無論このドメーヌは、何世代にもわたる歴史ある一族の伝統を継いだ生まれ変わりに過ぎない。フランソワの名は彼の曾祖父フランソワ・ヴィロに因んで名付けられた。ドメーヌ・ルフレウのバイオニア的な契約農家であり、間違いなく20世紀で最も偉大な白ワインの作り手の一人に数えられる。フランソワが父ルイ・カリヨンと共にブドウ栽培を始めたのは1988ヴィンテージからだ。フランソワのスタイルは、兄ジャック・カリヨンよりも豊潤で食事に良く合い、収穫の時期も遅い。しかし2017年は、瑞々しい酸によってテクスチャーやボディの豊満さがスッパリと抑えられ、恰幅の良い滑らかな味わいながらも、香りと味わいの双方にビュアな緻密さが感じられる。過去のヴィンテージでは新樽の存在感がやや際立って感じられたが、この年は新樽の効かせ方が実に巧妙だ。換言すれば、カリヨンの2017ヴィンテージは、この作り手独自のスタイルが成熟期に達したことを物語っている。フランソワの曾祖父も誇りに思うだろう。【ワインアドヴォケート242号より】

ジャック・カリヨンの兄弟、フランソワ・カリヨンは、現在、1haの赤ワイン用区画と14haの白ワイン用区画から成る15ha程の畑を管理している。2017ヴィンテージについてカリヨンは次のように語ってくれた。フランソワ・カリヨン:「ワインの出来映えには極めて満足しているが、この年の生育期は4月にまたしても深刻な霜害リスクに見舞われたため、少なくとも幾度となく手を揉まずにはいられないほど懸念に満ちたものだった。その後は特に重大な異常気象が見られなかったため、ブドウの生育はかなりスムーズに進んだ。この年は9月3日から収穫を開始したが、よく熟したクリーンなブドウを収穫できたばかりでなく、収穫量も決して収穫過多となることなく、極めて望ましい量を得ることが出来た。ピュリニの収量は2016年の収量とほぼ同じだったが、サン・トールバンとシャサーニュは昨年よりも遥かに良かった。ワインに関しては、ブルゴーニュの白としてクラシックなスタイルに仕上がった。酒齢の若いうちからも楽しめるが、中長期的なセラー熟成が効くだろう。」「【バグハウンド75号より】

2017 Bourgogne Aligote

上代価格 ￥3,500(税抜)

ブルゴーニュ・アリゴテ

ピュリニ・モンラッシェとコルポー南部の畑から収穫されるカリヨンのアリゴテは、黄金のアリゴテ「アリゴテ・ドレ」というクローンで、果皮が薄く、成熟すると黄金色になる小粒の実を付けます。緑のアリゴテ「アリゴテ・ヴェール」より華やかな香りを持ち、糖度が高く、酸味だけが突出することのないふくよかなワインに仕上がります。鮮やかなグリーン・シトラスや木生り果実のアロマに、シャープで生き生きとした生彩な味わいが感じられる鮮やかで飲みやすい白ワインです。

畑:ピュリニ・モンラッシェとコルポー南部 品種:アリゴテ・ドレ 100% 樹齢:60 年以上 土壌:粘土・石灰岩質 新樽率:10%

★バーグハウンド 87 点 ★Outstanding Top Value★(最高のバリューワイン) #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2020 年+)

スパイスを塗した林檎や柑橘系果実、果肉の白い様々な果実の香りが広がる可憐で表情豊かなアロマ。心地よく重厚でミネラリーなミディアムボディの味わいは、典型的なブルゴーニュ・アリゴテよりも洗練されたテクスチャーが感じられる。生き生きとした鮮やかで余韻の長い後味が広がる。このレベルのワイン(広域レジョナル・クリュ)にしては実にクオリティの高い逸品である。



2017 Bourgogne Blanc

上代価格 ￥4,500(税抜)

ブルゴーニュ・ブラン

フランソワ・カリヨンのブルゴーニュ・ブランは、ピュリニ・モンラッシェとムルソーにある計 5ha の 2 区画の畑から収穫しています。香ばしくシャープな酸が生き生きと感じられる鮮やかで芳醇なスタイルを持つワインで、グリーン・シトラスや肉付きの良い洋梨、桃を思わせる豊かな果実味が飲み始めから溢れるように感じられます。

畑:ピュリニ・モンラッシェ、ムルソー(計 5ha) 品種:シャルドネ 100% 樹齢:33~59 年 土壌:粘土・石灰岩質 新樽率:10%

★パーカーポイント 87 点 #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー (飲み頃:2018~2025 年)

カリヨンの 2017 年ブルゴーニュ・シャルドネは、ペストリー・クリーム、熟れたレモン、白い花の香りが溢れるように香り立つ。ミディアム〜フルボディの肉付きがよくジュシーな味わいで、ふくよかだがくっきりとした輪郭を備えている。美食と相性の良い芳醇なブルゴーニュで、酒酔の若いうちから楽しめる。



★バーグハウンド 87 点 ★Outstanding Top Value★(最高のバリューワイン) #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2020 年+)

洋梨や林檎、ペトロール(灯油)の香りが飲み始めに香る、心地よく重厚で生き生きとした素晴らしくフレッシュな味わい。例年よりも若干深みを増し、余韻も長く感じられる。このワインもまた、この等級にしては極めて良質なワインであり、あらゆる場面で活躍できる万能のハウスワインとなるだろう。

2017 Puligny Montrachet

上代価格 ￥10,500(税抜)

ピュリニ・モンラッシェ

ピュリニ・モンラッシェ・ヴィラージュの 8 つのリュ・ディ(小区画)に跨る計 6ha 程の畑より収穫。味わいは真っ直ぐで直線的な広がりを持ち、白桃を思わせる果実のアロマを美しい酸が引き立て、柑橘系果実の香りを帯びた余韻の長い後味を生みます。

畑面積:計 6ha(リュ・ディ:ヴェル、ルショー、コルヴェ、ルヴロン、レ・ゾブ、レ・トランブロット、レ・ノワイエール・ブレ、ルーセル)
品種:シャルドネ 100% 樹齢:19~49 年 土壌:粘土・石灰岩質

★パーカーポイント 89-91 点 RobertParker.com #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

2017 年のピュリニ・モンラッシェ・ヴィラージュは、芳醇で美食に良く合うシャサーニユのヴィラージュに比べ、より鮮やかで緻密な味わいを持ち、蠟の香りを帯びた柑橘系果実の外皮やスモーク、白い花々のアロマがグラスの中からフワリと浮き立つように香る。味わいはピュアで生き生きとした生彩なミディアムボディで、鮮やかな酸にエレガントで艶のあるテクスチャーが感じられ、くっきりとした美しい後味が余韻に広がる。



★バーグハウンド 89-91 点 ★Outstanding Top Value★(最高のバリューワイン) #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2022 年+)

香りは例年よりも複雑でよりフローラルなニュアンスを持ち、次第に柑橘系果実の果皮やスパイス、青林檎のアロマにオーク由来の仄かなトースト香が姿を現す。例年よりも重厚な味わいだが、尚も官能的なテクスチャーを持つミディアムボディで、舌を包み込むように広がる青々とした芳しいドライ・エクストラクトが豊かに感じられ、余韻が長く複雑味のある後味を生む。村名レベルにしては実に上質なクオリティが感じられる。

2017 Puligny Montrachet Les Enseignères

上代価格 ￥12,000(税抜)

ピュリニ・モンラッシェ・レ・ザンセニエール

レ・ザンセニエールは、特級畑であるピアンヴニ・バタール・モンラッシェの真下位置する畑で、村名畑でありながら、一級畑に引けをとらない上質なワインを生みます。柑橘系果実の香りと共に金柑やピンク・グレープフルーツなどのエキゾチックな果実の香りが口内でエレガントに溶け合います。ピュリニ・モンラッシェの真髄が表現された緻密で余韻の長い味わいが広がります。

畑:レ・ザンセニエール(ピアンヴニ・バタール・モンラッシェのすぐ下に位置) 品種:シャルドネ 100%

★パーカーポイント 90-92+点 #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

2017 年のピュリニ・モンラッシェ・レ・ザンセニエールは、カリヨンの単一リュ・ディのワインの中で最も遅咲きのワインであり、レモンオイルや白い花、ペストリー・クリームのアロマがグラスの中で徐々に花開いてゆく。シルキーでピュアな味わいのミディアム〜フルボディで、カリヨンの手掛ける 3 つのピュリニ・ヴィラージュのワインの中で最も張りときれのある味わいを持つ。素晴らしく深みのある味わいが軸の部分に感じられ、余韻の長い緻密な後味が広がる。



★バーグハウンド 89-92 点 ★Outstanding Top Value★(最高のバリューワイン) #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2024 年+)

青林檎や柑橘系果実、フローラルな花の香り、柔らかなスモークのニュアンスから成るフレッシュで可憐なアロマ。味わいは心地よい濃厚さと他のキュヴェとは全く異なる個性的なテクスチャーを併せ持つミディアムボディで、力強く生き生きとした活力をはっきりと感じ取ることが出来る。後味もよりシリアスで骨格が良い。実に上質なピュリニ・ヴィラージュである。

2017 Puligny Montrachet 1er Cru Les Champ Gain

上代価格 ￥15,500(税抜)

ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・レ・シャン・ガン

1 級畑のシャン・ガンは、茶色い石灰質土壌を持つ 2 ヘクタール程の区画で、他の畑よりもブドウがゆっくりと熟します。ライムや洋梨のアロマが印象的なワインで、心地よくミネラリーで伸びのあるアタックが感じられ、ピリリとした酸味の効いた後味が広がります。

畑:一級畑レ・シャン・ガン(畑面積:計 2ha) 品種:シャルドネ 100% 土壌:粘土の混じる茶色い石灰質土壌

★パーカーポイント 91-93 点 RobertParker.com #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

砕いた岩石、白い花、レモンオイル、シャープな酸を持つ青林檎のアロマが飲み始めに香る 2017 年のピュリニイ・モンラッシェ 1 級畑のシャン・ガンは、仄かな塩味と滑らかなテクスチャーを持つミディアム〜フルボディのワインで、恰幅が良く、素晴らしく生き生きとしたエネルギーに満ちている。余韻は長く、塩味のある瑞々しい後味が垂涎を誘う。これぞ正しく当たり年のワインと言える。

★バーグハウンド 89-92 点 Burghound.com #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2024 年+)

柑橘系果実の香りを帯びた白桃や黄桃のアロマにスモーキーなニュアンスが著しく感じられる。比較的濃厚な味わいだが、生き生きとした生彩さを持つミディアムボディで、力強さと豊かなミネラル感が顕著に表れている。シャン・ガンにしてはやや素朴な後味。



2017 Puligny Montrachet 1er Cru Les Folatières

上代価格 ￥17,000(税抜)

ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・レ・フォラティエール

「フォラティエール」の由来には諸説がありますが、その一つに「follets(いたずらな妖精たち)が宿る」という意味を持つフランスの古語 Foletière に由来するという説があります。昔、火の玉や精霊たちが霧に紛れてこの場所に集まると考えられていたそうです。この一級畑は、非常に勾配が険しく、レモンやスターフルーツ(酸味の利いた黄色い果物)のアロマに土壌の特性がよく表れます。近隣の畑のようなわかりやすい派手さはなく、内なる力強さと個性、輝きを秘めたバランスの良い白ワインを生み出す。

畑:一級畑フォラティエール(畑面積:計 5ha/4 区画) 品種:シャルドネ 100% 樹齢:49 年 土壌:粘土、石灰岩、小石が混合

★パーカーポイント 92-94 点 #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

蜜蝋、タンジェリン、黄色い木生り果実、ピリリとした青林檎のアロマが飲み始めに香る 2017 年の 1 級畑のレ・フォラティエールは、恰幅が良く重量感のあるフルボディのワインで、コア部分に素晴らしい深みがあり、ジューシーな酸に骨格のしっかりとしたコクのあるエキスが感じられる。口蓋を突き抜けるような余韻の長い後味が続く。カリオン曰く、アルコール分は 14% 近くに達する。

★バーグハウンド 90-92 点 #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2024 年+)

マンダリンオレンジやアカシアの花、アプリコット、柑橘系果実の果皮、柔らかな木樽のニュアンスが煌めくように香るややエキゾチックでエレガントなアロマ。味わいはきめ細やかで洗練された口当たりが際立つ。丸みのある官能的でジューシーなミディアムボディ。芳しく青々としたドライ・エキストラクト(固形成分)に満ち、柔らかなミネラル香を帯びた余韻の長い後味が広がる。もう数年ほど寝かせることで深みを増す。



2017 Puligny Montrachet 1er Cru Les Combettes

上代価格 ￥18,000(税抜)

ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・レ・コンベット

コンベットの区画は、1990 年代初期に植樹された区画で、茶色く肥沃で小石の多い下層土を持ち、この区画のブドウは通常他の畑よりも生育が早く進みます。この畑のワインは濃厚で、重厚だがしなやかな口当たりを持ちます。

畑:一級畑コンベット(畑面積:0.78ha) 品種:シャルドネ 100% 植樹:1990 年代初頭 土壌:粘土、石灰岩、小石が混合

★パーカーポイント 92-94 点 #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

2017 年のコンベットは、ペストリー・クリーム、酸味の効いた木生り果実、蜂の巣、白い花のアロマがグラスの中からほどけるようにして香り立つ。力強く恰幅の良いフルボディで、クラシックなコンベットに特有のがつりとした重厚な味わいが感じられる。試飲した時、このワインは他のカリヨンのワインに比べるとまだあまり熟成の進んでいない初期の段階にあったが、ボテンシャルの高さは、相当なものである。

★バーグハウンド 90-92 点 #75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2024 年+)

心地よく重量感のあるミディアムボディで、官能的とも言える柔らかな口当たりを持ち、奥ゆかしく余韻の長い後味が広がる。複雑味は極めて穏やかだが、非常に長い余韻を持つ。



2017 Puligny Montrachet 1er Cru Les Perrieres

上代価格 ￥18,000(税抜)

ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ・レ・ペリエール

フランソワ・カリオンは、ペリエールに 2 区画の畑を所有し、片方は樹齢 50 年以上で、もう一方は 1973 年に植樹された区画です。ワインは、ミネラル豊かで生き生きとした生彩な酸を持つ極めてハリのある味わいが口中で弾けるように感じられ、細部までくっきりとした緻密な後味が広がります。石やチョークの香りを思わせるミネラル香が柑橘類のソルベや核果実のアロマを引き立てます。

畑:一級畑ペリエール(畑面積:計 0.5ha/2 区画) 品種:シャルドネ 100% 樹齢:44~50 年以上 新樽率:15%

★パーカーポイント 92-94+点 #242 2019 年 5 月 1 日 ウィリアム・ケリー

2017 年のペリエールは、実に将来を嘱望されたワインだ。酒齢の若さ故の内向的な熟成香は、砕いた岩石や円熟したシトラスのオイル、白い花の香りが感じられる。味わいはミディアム〜フルボディで奥深く、仄かな塩味を伴う。美しくピュアで張りがあり、コア部分に張力が感じられ、余韻の長い緻密な後味が広がる。今までにフランソワ・カリオンが手掛けた中で最も上質なペリエールだ。

★バーグハウンド 91-93 点★Sweet Spot Outstanding★(胸を打つ傑出したワイン)#75 2019 年 6 月 10 日(飲み頃:2023 年+)

香りは、素晴らしくフローラルで柑橘系果実のニュアンスが著しく、次第に果肉の白い果実や仄かなスパイスの香りが現れる。豊かなドライ・エキストラクト(固形成分)に由来する重厚なミッドパレットを持つミディアムボディで、官能的なテクスチャーに極めてミネラリーな後味が生き生きと感じられる。洗練されたワインと言うよりは、頑強で力強い印象を覚えるワインで、深みと余韻の長さも実に印象的である。

